

2015. 7. 8

日本人審判員 2 名が国際体操連盟 (FIG) から表彰

このたび、昨年 6 月に開催された「FIG 世界選手権大会」(メキシコ・カンクン)において、ジャッジが特に優れていることにより、日本の高橋直樹、菊地はるひの 2 審判員が FIG から表彰を受けました。

※Smile vol. 69 p7 より、抜粋)

(FIG ホームページ 審判員表彰 関連記事: 英語)

<http://www.fig-gymnastics.com/site/figNews/view?id=1117>

記事要約:和訳

FIG (国際体操連盟) が優秀な審判員として表彰

世界選手権大会 2014 とユースオリンピック 2014 での審判員の採点内容を再調査した後、FIG(国際体操連盟)はこれらの競技会で 20 人以上の審判員を優秀な審判員として表彰できることを嬉しく思います。

FIG 事務局長の Andre Gueisbuhler 氏は「多くの審判員は良い審判をした」と言いました。「FIG は努力をしてきて、全ての競技会でしっかりと適切な良い審判をすることが選手の利益になると確信しており、今後も更に努力し続け、私達のスポーツが成功する為に公平な審判が行われる機会を確保していきます。」

世界選手権大会やユースオリンピックではほとんどの審判員の審査は公平で公正だったと Andre Gueisbuhler 氏は付け加えました。残念なことに、数人の審判員は FIG 規律(懲罰)委員会にバイアスが報告され、制裁措置(処罰)につながる可能性があります。

次にあげる審判員は、優秀な審判員としてそれぞれの受賞審判員の国の連盟に送られた表彰状で報われています。

体操競技男子: ~

体操競技女子: ~

新体操: ~

アクロバティック競技: ~

エアロビック競技:

・ Naoki TAKAHASHI (日本)

FIG 世界選手権大会 2014 (メキシコ・カンクン) に於いての審判が特に優秀であった

・ Eva SZLOBODA (ハンガリー),

FIG 世界選手権大会 2014 (メキシコ・カンクン) に於いての審判が特に優秀であった

・ Haruhi KIKUCHI (日本)

FIG 世界選手権大会 2014 (メキシコ・カンクン) に於いての審判が特に優秀であった

・ Noemi IRURTIA (スペイン),

FIG 世界選手権大会 2014 (メキシコ・カンクン) に於いての審判が特に優秀であった

・ Cristina SPINU (ルーマニア)

FIG 世界選手権大会 2014 (メキシコ・カンクン) に於いての審判が特に優秀であった